

猪苗代湖が育む風土づくり

郡山湖南地区

郡山市

県中建設事務所
計画期間: H17~H18

地域づくりの方針

地域の豊かな景観を観光資源として活用するため、遊歩道やビューポイント及びそのアクセス道路等の整備を目指す。また、福良、赤津、三代地区等では、宿場町の雰囲気再現し、気軽に立ち寄れる町づくりを検討するとともに、民家や農家を利用したグリーンツーリズムへの転換、原野風景を活かした農

主な事業内容

猪苗代湖、磐梯山を眺望できる箇所に

視点場

を整備しました。

視点場整備



整備後



視点場 利用状況及び眺望

砂利道解消



施工前



施工後

利用状況

(湖南行政センターに寄せられた声)

■非常に景色の良い場所と聞いていましたが、道路が舗装されていなかったため行きにくかったです。しかし、舗装されたので、訪れやすくなり、素晴らしい風景をみる事が出来るようになりました。

■舗装や待避所、景観に配慮したガードパイプなどが設置されたおかげで、車が通行しやすくなった

地域の現状

湖南町は、豊かな自然景観等、恵まれた資源を有しながら、有効活用できず、過疎化等が進行しています。そのため、住民主体の「しゃべってみねがい湖南」により、活発な議論が交わされています。

羽鳥湖周辺地区は、年間50～60万人の来訪者を迎える観光地です。しかし、近年の観光客減少による地域産業の不振などの課題を抱えています。そのため、住民主体の「羽鳥湖高原活性化協議会」を設立し活動しています。

交通面では、国道294号黒森峠が開通し、会津方部からのアクセスが改善され、現在整備中の県道郡山湖南線の部分開通も見込まれることから、郡山市街地との一層の連携強化が図られることとなります。

地域づくりのあゆみ

平成16年

・地域が主体となり「いどばた会議」を組織、湖南地区全地区の住民で、様々な地域の課題について話し合うことをはじめ。

平成17年

・いどばた会議で、自然の大切さについて再確認される中、湖南湊線の砂利道解消、視点場の整備工事を実施することとする。（～H18）

平成18年

・いどばた会議の名称を「しゃべってみねがい湖南」とし、話し合いの中から「ばっばの会」などの実働部隊が活躍するようになる。
・湖南湊線の砂利道解消、視点場の整備で、地域のかたとの話し合いの中から、地場産の間伐材を有効活用した転落防止柵を設置、地域と調和した景観整備を図った。

平成19年

・羽鳥福良線で結ばれた縁で、郡山湖南地区と天栄村羽鳥・湯本地区の交流が始まる。
・豊かな自然環境が地域の宝であることを相互確認すると共に、地域間交流を進めていく

平成20年

・羽鳥福良線の砂利道解消、沿道修景整備を実施することとする。
地域の皆さんとともに道路を歩き、その良さを再確認しながらの工事計画を進める。

元気づくりの立役者たち

猪苗代湖・磐梯山



青松浜



梅花藻の群生



布引高原



事業の効果

■ 検討機関の開催、地域資源の周知

- ・「しゃべってみね会」がH19.4より、行政の手を離れ自立しました。懇談会は、地域住民主導で行われています。
- ・特産物の直売や、周辺環境の手入れ、史跡のPR、観光マップの作成等。
- ・元気ふくしま事業が完了した後も、しゃべってみねがい湖南は、引き継がれ、様々な地域課題について継続的に議論を実施しています。

しゃべってみねがい湖南



他地域との交流連携



■ 連携強化に向けた取り組みの拡大

- ・天栄湯本地区、羽鳥地区、湖南地区で交流連携に積極的に取り組んでいます。
- ・こみち（県道羽鳥福良線）の交流をとおして、貴重な地域資源の再発見に対する意識が格段に向上し、地域の方が積極的に地域づくりに参加しています。

地域の課題・今後の展望

- ・高齢化が進んでおり、若者の定住に苦慮しています。
- ・布引高原や猪苗代湖などの地域資源がありながら、地域活性化に活かされていないため、自然環境資源を活かしながら自然体験学習等のエコツーリズムを検討中です。

関係機関

- 福島県 県中建設事務所 道路課
- 郡山市湖南行政センター
- しゃべってみねがい湖南

TEL : 024-935-1431

TEL : 024-983-2111